

職員意識「見える化」

宮崎全JAで組織診断

【宮崎】JA宮崎中央会と県内JAは、魅力あるJAづくりを通じて、組合員の満足度を向上するため、組織診断をした。普段は目に見えない職員の仕事や職場風土を「見える化(数値化)」する狙い。組織診断の結果はJA常勤役員らに報告し、課題を共有。各JAで個別報告会を開いている。

組合員満足度向上へ

調査は昨年8月、(株)ユーマンブレイクスルー(福岡市)に委託して、インターネットなどでアンケートした。県内JA職員の9割以上に当たる4010人(正職員3090人、正職員以外920人)が回答した。

正職員への質問は①経営理念・方針②事業戦略③上司のマネジメント④人事評価⑤仕事内容⑥自己成長⑦コミュニケーション⑧組織風土⑨職場環境⑩労働条件の10項目。それぞれ5問ずつで、満足度と重要度を5段階で質問し

評価(同3・62、2・69)「職場環境」(同3・62、3・05)「経営理念・方針」(同3・67、3・02)に

関連するものであることが分かった。

自由記述では「やりがいを感じている」「組合員からの感謝に喜びを感じる」などの意見がある

半面、「経営理念を浸透させるべき」「時代変化に応じた戦略が必要」などの課題提起があった。

改善に向けては、各JAで改善検討委員会を設置し、改善計画(アクションプラン)を策定する。また、PDCA(計

支店活動を強化 地域の元気生む源に

【宮崎・みやぎ登米】JAみやぎ登米は、金融・共済・営農の部門を超えて支店全職員が一丸となって理想の支店を目指す支店力強化に、今年度は新たに3支店を加え、6

改革ニュース

反TPPのCM放映

【北海道】JAグループ北海道は環太平洋連携協定(TPP)の危険性を訴える新たなテレビコマーシャル(CM)の放映を始めた。関税撤廃や規制緩和で日本の食や医療、雇用などが脅かされる恐れがあると伝える。CMは30秒。母親と食事をする子どもや病院内、田園風景などの映像を背景に「いつでも安心できる食べものを」「いざという時、頼りにできる医療を」と呼び掛ける。最後に「みらいをまもれ」の文字と共に「JAグループ北海道はTPP交渉参加に反対します」と訴える。

移動店舗で防犯訓練

【兵庫】JA兵庫西佐用支店は佐用署と協

90周年祝い ロゴマーク

90th anniversary
forward 100th

農林中央金庫は2013年12月に創立90周年を迎えるのに合わせ、記念のロゴマーク「図」を作成した。用は13年度末までの23年の100周年を見据えたデザインを掲げており、ロゴを

農林中

同中央会経営指導部の西田和夫部長は「結果を生かした『目に見える改善』にJAとともに取り組みたい」と話す。

「支店が元気になればJAが、JAが元気になれば」が、JAが元気になれ

いた成果が出たことで、今後も活動を継続する。今年、同町内の教育機関や施設に「ベニアズマ」の苗1700本を配布。24日には同町の東和小学校へ贈り、同支部の小田島邦子支部長が6年生の生環境美化委員長の鎌田優君に手渡した。小田島支部長は「農業に興味を持ち、食べ物のあり



(岩手県花巻市で)